

子育てするなら恵那がいい!

ができるまちを目指して、切れ目のない支援を行うための施策「ひとねるサポート」で、さまざまな支援事業を進めています。

平成28年度には、子育ての総合相談窓口「えなつ宝ほっとステーション」を子育て支援課内に開設しました。保健師や専門の相談員が子育てに関するさまざまな相談に応じたりの、ニーズに合った子育てサービスの情報を提供したりしています。「子育てするなら恵那がいい!」支援内容を特集します。

☑ 子育て支援課(内線268)

安心して子育てできるまちを目指して

妊娠、出産、そして子育てにおいて、私たちがとりまく環境は日々変化しています。特に、共働き家庭の増加や核家族化の進行により、社会全体で子育てを支えていくことが求められています。祖父母の手助けや地域での助け合いのほか、必要な子育て支援を受けやすい環境作りが必要です。

この現状と課題を踏まえ、恵那市では、安心して妊娠や出産、子育て



物知りおじさんのふるさと情報



中山道かたりべの会会長
西尾 重人さん
(大井町)

今月の物知りおじさん

明治天皇巡幸による大井行在所の昔と今

明治13年、天皇の民情視察のため6月28日に大井にお泊りになることが、3月30日に決定され諸準備が始まりました。当時、宿は施設の整っている本陣を使うところですが、すでに大井の本陣は郡役所に使用していたため、相談の結果、旅館の伊藤弥兵衛宅(現岩井家)に決まりました。お泊りには三部屋続き(行在所、侍従室、大臣級室)の間、風呂場、便所が必要となることから、急ぎよ、隣家を購入し改築を行ったため、今も増築部分の継ぎ目跡が残っています。

行列は東京から中津川までは、板敷で、それ以降は二頭立ての馬車で巡幸することになり、馬車が通過できるような起伏が激しい岡瀬沢の甚平坂は2層程切り下げられ、上宿の坂も長国寺の前から大井小学校の下を迂回するよう、道路改良が行われました。長島地区でも当初は中山道を巡幸する予定でしたが、同様な理由で追分から下街道を通過するよう変更されました。巡幸に合わせて大井の本町を中心に、文明開化の象徴である「ガラス灯」の設置願いが出され、人もうらやむ大井



▲隣家を購入、改築した三部屋続きの間

ふるさとに学び郷土愛を育む、毎月第3日曜日は「恵那市読書の日」
市中央図書館・伊藤文庫

広報えな 5月号 目次

- 3 特集 子育てするなら恵那防いいい
- 8 注目情報
- 10 お知らせ
- 16 みんなの掲示板・おくやみ
- 18 健康ガイド
- 19 子育て支援センター・相談
- 20 地域情報トピックス
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学
ビジネスサポートセンター
健康レシビ・男女共同参画
- 24 出生・1歳になりました
園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 28 再びの恵那第九

◀市ウェブサイト
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。

◀市メール配信サービス
防災や観光などの情報を電子メールで配信しています。

今月の表紙



笠周地域の救急を担う分遣所が開所

4月4日、市の北部に位置する笠周地域(笠置町、中野方町、飯地町)の救急を管轄する、中野方救急分遣所の開所式が行われました。中野方救急分遣所は笠周地域の救急体制を充実させるために、中野方コミュニティセンターに救急隊員3人と高規格救急車を1台配置し、4月2日から業務を開始しました。開所式では笠周地域振興計画推進委員会の委員や小坂市長ら21人が出席し、開所を祝いました。

数字で見る恵那市

人口 (4月1日現在)

総数	50,630人	(-207)
男	24,592人	(-99)
女	26,038人	(-108)
世帯	19,658世帯	(±0)
()	内は前月との比較	

人口動態 (3月異動)

出生	27人	
死亡	66人	-39人
1月からの自然増減	-139人	
転入	202人	
転出	370人	-168人
1月からの社会増減	-165人	

交通事故 (3月中の概数)

人身事故	7件	(21件)
物損事故	95件	(359件)
負傷者	8人	(25人)
死者	0人	(0人)
()	内は1月からの累計	

火災 (3月)

建物	1件	(1件)
その他	2件	(5件)
()	内は1月からの累計	

救急車出動回数 (3月)

206回	(637回)
()	内は1月からの累計



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

